

## 大阪市港湾局 令和元年度主要事業について

## 主航路浚渫等国直轄事業（令和元年度当初予算額：3,424,000千円）

- ・主航路浚渫:コンテナ船の大型化に対応した主航路の増深・拡幅を行う。(令和元年度は土砂処分場整備を実施)
- ・C12岸壁延伸:夢洲コンテナ埠頭での取扱貨物量の増加に対応した施設の拡充を行う。(令和元年度は棧橋背後の舗装を実施) 等

## 国際コンテナ戦略港湾の実現に向けた集貨等の取組み（令和元年度当初予算額：77,327千円）

阪神国際港湾株式会社が実施する集貨事業への支援や、国内外のポートセールス活動等により、大阪港の強みを活かした集貨に取り組むとともに、コンテナターミナル周辺に発生しているコンテナ車両による滞留を低減し大阪港の機能強化を図るため、滞留対策の検討を行う。

## 南海トラフ巨大地震に対する堤防等の耐震対策（令和元年度当初予算額：5,222,090千円（別途、債務負担行為 3,531,000千円））

南海トラフ巨大地震による津波浸水想定を踏まえ、平成26年度から府市の港湾・河川部局が連携して地盤改良による堤防の液状化対策等に取り組んでおり、概ね10年程度での整備完了をめざす。

## 南海トラフ巨大地震に対する橋梁等の耐震対策（令和元年度当初予算額：210,000千円）

災害時の緊急交通路等にかかる橋梁・トンネルについて、南海トラフ巨大地震に対する安全性の検討結果に基づき、対策に取り組む。

## 港湾施設の維持補修（令和元年度当初予算額：4,290,000千円）

大阪市公共施設マネジメント基本方針及び予防保全計画に基づき、老朽化が進む岸壁・橋梁等について、計画的・効率的な維持補修を行う。

## 平成30年台風第21号による港湾施設等の被害復旧事業等（令和元年度当初予算額：1,023,342千円）

平成30年台風第21号により被害を受けた港湾施設等の復旧工事を実施する。また、浸水被害を受けた埋立地の高潮対策について検討する。

## 天保山客船ターミナル整備事業（令和元年度当初予算額：586,330千円（別途、債務負担行為 3,507,000千円））

クルーズ客船の母港化をめざし、PFI手法により客船ターミナルの整備等を行う事業者の選定手続き・契約締結を行うとともに、大型テントによるターミナル機能の先行的整備を行う。

## 国際博覧会の開催及びIRを含む国際観光拠点形成に向けた夢洲地区の土地造成・基盤整備事業（令和元年度当初予算額：5,773,000千円）

2025年国際博覧会開催に向けて、また、博覧会開催前のIR開業をめざし、夢洲のインフラ整備、鉄道アクセス及び道路アクセスの整備を推進する。